

Kishida Riusei: A Retrospective



重要文化財  
《麗子微笑》  
2/16①まで6週間  
限定公開!

《麗子微笑》重要文化財 1921年10月15日 東京国立博物館 Image: TMM Image Archives [展示期間 2020年1月8日~2月16日]

没後90年記念

岸田  
劉生  
展

2020 1/8(水)  
→ 3/1(日)

名古屋市美術館  
Nagoya City Art Museum  
芸術と科学の杜

主催=名古屋市美術館、中日新聞社、日本経済新聞社、テレビ愛知  
後援=愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会  
協賛=大日本印刷、トヨタ自動車、損保ジャパン日本興亜  
特別協力=東京国立近代美術館 協力=名古屋市交通局、JR東海、近畿日本鉄道

中日新聞 NIKKEI テレビ愛知

Kishida Riusei: A Retrospective



《童女舞姿》1924年3月7日 大原美術館

描いても、描いても、愛しい。

日本一有名な少女、公開。

岸田

没後90年記念

劉生  
展

2020 1/8(水) → 3/1(日)

名古屋市美術館  
Nagoya City Art Museum  
芸術と科学の杜

展览会特設サイト  
<https://kishida-riusei.com/>

岸田劉生展 2019 検索

開館時間=9:30~17:00、毎週金曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)  
休館日=毎週月曜日(1月13日、2月24日は開館)、1月14日[火]、2月25日[火]

お父様は絵のモデルに  
果物や花を持たせることも  
多かったの。この絵では  
青ミカン持っているのよ



《麗子微笑》重要文化財 1921年10月15日  
東京国立博物館 Image: TNM Image Archives  
[展示期間 2020年1月8日(水)~2月16日(日)]

**日**本の近代美術史に比類なき足跡を残した岸田劉生(1891-1929)。劉生といえは愛娘を描いた「麗子像」が代表作として挙げられますが、肖像画だけでなく、静物画、風景画といった多彩なジャンルで独創性豊かな傑作を残しました。劉生はものの存在を見つめ、美を求め、さらに深い精神性を追求する独自の写実絵画の道を歩み続けました。その劉生の美意識は、新しい美術を模索する若い作家を中心に当時の洋画壇に強い影響を与えました。没後90年を記念して開催する本展には、初期の水彩画から38歳で急逝する直前に描かれた風景画まで、珠玉の作品150点余が日本各地から一堂に名古屋に揃います。この機会に劉生芸術の真髄をどうぞご堪能ください。

※会期中、一部展示替えがあります。  
前期=1月8日(水)-2月2日(日) / 後期=2月4日(火)-3月1日(日)



《黒き帽子の自画像》1914年3月6日 個人蔵



あたし麗子! お父様の名作いっぱい  
の展覧会なの! あたしがモデルの作品も  
いっぱいあるから来てね!



《静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)》1918年4月12日 福島県立美術館



あたしは難しくてわからないけど、  
お父様が「写実的美」を  
追求していた頃の作品よ

# 日本近代美術史上に輝く天才画家。満を持して登場!

みどころ

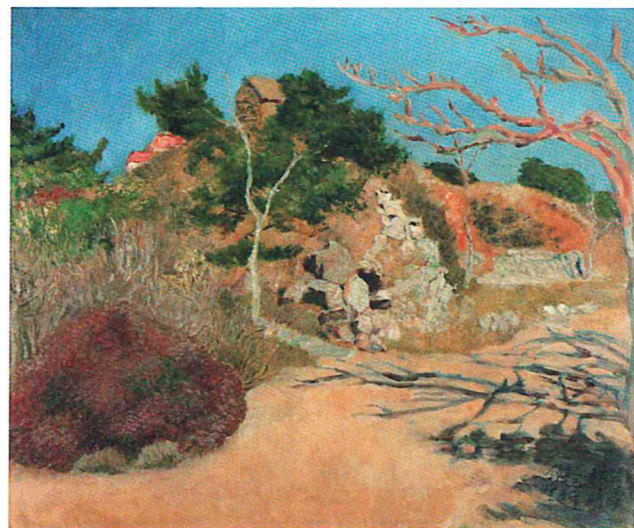
1

## 劉生の軌跡を辿る

劉生は、東西の美に傾倒しながら、独自の美意識をもって自分の信じる絵の道を歩み続けました。展覧会では年代順に作品を紹介し、劉生の画業の変遷を辿ります。

《路傍秋晴》1929年11月  
吉野石膏株式会社

お友達のお松ちゃん。  
麗子が着ている赤い肩掛けは  
お松ちゃんがくれたんだよ!



みどころ

2

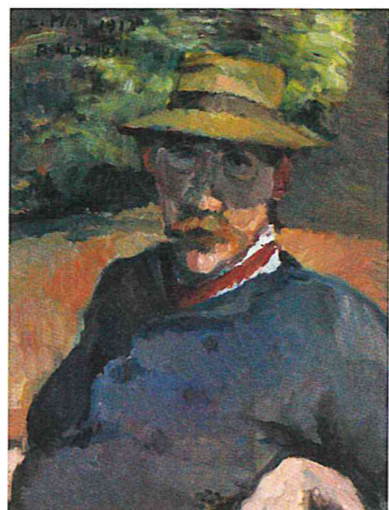
## ベスト・オブ・ザ・ベストの劉生展

「劉生の首狩り」と言われた肖像画の数々、そして自画像に風景画に静物画。没後90年という特別な機会だからこそ出品可能となった、初期から晩年までの名作を厳選して展示します。

《村嬢於松立像》1921年1月7日 東京国立近代美術館  
[後期展示 2020年2月4日(火)~3月1日(日)]



《B.L.の肖像(ベナード・リーチ像)》  
1913年5月12日 東京国立近代美術館

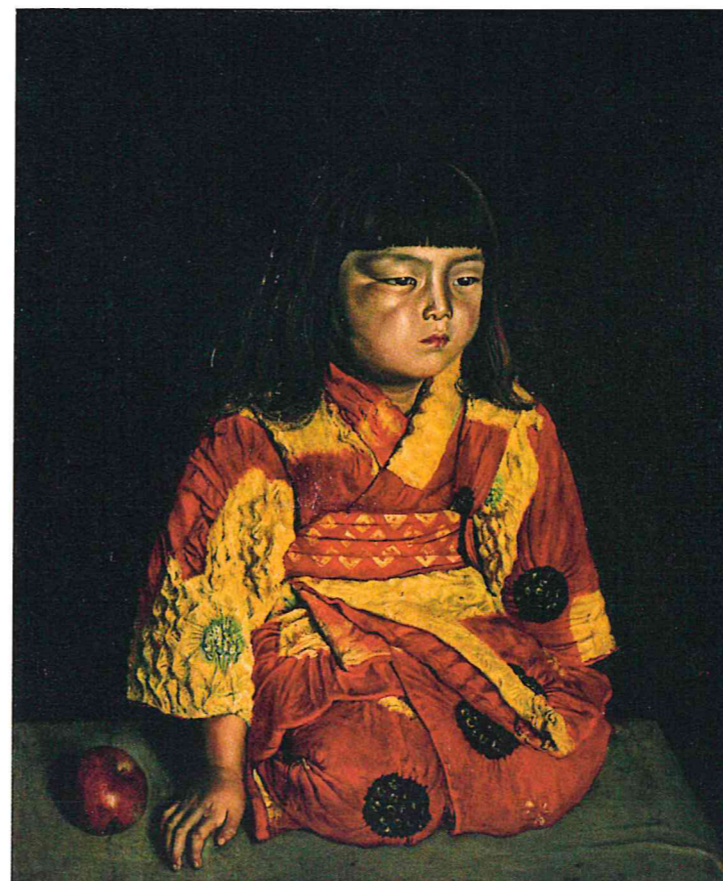


みどころ

3

## 麗子がいっぱい

劉生といえは麗子像。重要文化財《麗子微笑》をはじめ、《麗子坐像》、《童女舞姿》を含む、あの麗子も、この麗子も...さまざまな麗子が一堂に揃います。



《麗子坐像》1919年8月23日 ポーラ美術館



お父様の絵のモデルをしている時、  
足痛いけどガマン、ガマン...

## グッズセットチケット

数量  
限定

一般観覧券とオリジナルグッズが  
セットになったお得な前売券。

### A【ローソンチケット限定】

麗子ちゃんキュービー付きチケット 1,800円

### B【セブンチケット限定】

しりあがり寿  
麗子ちゃんトートバッグ付きチケット 2,100円



販売期間: 2020年1月7日[火]まで

販売場所: Aローソンチケット(Lコード:42327) / Bセブンチケット

※グッズはいずれも、美術館内の岸田劉生展特設ショップで引き換えになります。  
※商品がなくなり次第販売終了。※デザインや仕様は変更となる可能性があります。

## グッズ

定番のポストカードやクリアファイルをはじめ、本展オリジナルのしりあがり寿さんとのコラボアイテムなど、グッズも充実。



## 関連催事

### ◎記念講演会

2月2日[日] 14:00~15:30

演題:「岸田劉生:孤独なるもの行く道」

講師:山田 諭(本展監修者、京都市美術学会学芸課長)

### ◎作品解説会

1月18日[土]、2月9日[日] 14:00~(約60分)

講師:井口智子(名古屋市美術館学芸課長)

いずれも会場は名古屋市美術館2階講堂、定員180名(先着順。13:30に開場し、定員に達し次第締切)、入場無料。ただし聴講には本展チケット(観覧済み半券可)が必要です。※講演会などで手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の2週間前までにご相談ください。

### ◎ボランティアによるギャラリートーク

1月15日[水]、17日[金]、23日[木]、

24日[金]、30日[木]、31日[金]、

2月5日[水]、7日[金]、12日[水]、19日[水]、

20日[木]、21日[金] 10:30~/13:30~(約60分)

※本展チケットでご参加いただけます。会場入口にお集まりください。  
※都合により休止することがあります。

観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,400円	1,200円
高大生	900円	700円
中学生以下	無料	

※団体割引料金は20名以上に適用

※通常前売券は主なプレイガイド、チケットぴあ(Pコード769-754)、ローソンチケット(Lコード42327)、セブンチケット、イープラス、主なコンビニエンスストア、中日新聞販売店、中日文化センターなどでお求めいただけます。(販売は2020年1月7日[火]まで)  
※障害のある方、難病患者の方は手帳の提示により本人と付添者2名まで当日料金の半額でご覧いただけます。※名古屋市交通局発行の「ドコモエコきっぷ」「一日乗車券」を当日利用して来館された方は100円割引。※「名古屋市美術館常設展定期観覧券」の提示で団体料金が適用されます。※いずれも他の割引併用はできません。  
※「岸田劉生展」の観覧券で常設展もご覧いただけます。



ご来場は公共交通機関をご利用ください。

◎地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車、5番出口から南へ徒歩8分

◎地下鉄鶴舞線「大須観音駅」下車、2番出口から北へ徒歩7分

◎地下鉄名城線「矢場町駅」下車、4番出口から西へ徒歩10分

**名古屋市美術館**  
Nagoya City Art Museum 芸術と科学の杜

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25(芸術と科学の杜・白川公園内)  
Tel. 052-212-0001 Fax. 052-212-0005 http://www.art-museum.city.nagoya.jp/



©しりあがり寿